

福島第一原子力発電所 測定・確認用設備C系統から 採取したALPS処理水の分析結果について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 3 年 9 月 2 1 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 3月17日から、ALPS処理水希釈放出設備のうち、測定・確認用タンク内およびタンク群の水質を均質にするため、測定・確認用設備のタンクB群の循環・攪拌運転を開始し、タンク群の水質の均質化に必要な時間以上の循環攪拌運転を実施し、3月27日に試料採取を行いました。6月22日、採取した試料の分析結果から、放出基準を満足していることを確認しました。
- 8月24日から、当該タンクB群のALPS処理水の海洋放出を開始し、海水中のトリチウムについて当社が毎日実施する迅速な分析の結果等から、計画どおりに放出が安全に行われていることを確認しながら、9月11日に第1回の海洋放出は完了しました。

<9月11日までにお知らせ済み>

- 6月19日から測定・確認用設備のタンクC群において循環・攪拌運転を開始し、タンク群の水質の均質化に必要な時間以上の循環攪拌運転を実施した上で、6月26日に試料採取を行いました。
- 採取した試料の分析結果から、放出基準を満足していることを確認しました。
 - ① 測定・評価対象核種（29核種）：告示濃度比総和「0.25」（1未満を確認）
 - ② トリチウム：14万ベクレル/ℓ（100万ベクレル/ℓ未満を確認）
 - ③ 自主的に有意に存在していないことを確認している核種（39核種）：全ての核種で有意な存在なし
 - ④ 一般水質（自主的に水質に異常のないことを確認）（44項目）：基準値を満足
- 外部機関（化研）の測定結果※も同様で、放出基準を満足していることを確認しました。

※ ①測定・評価対象核種（29核種）、②トリチウム、③自主的に有意に存在していないことを確認している核種（39核種）を測定

- 現在、ALPS処理水希釈・放出設備全体の点検を実施するとともに、第1回放出の運用実績についても確認を行っています。第2回放出準備作業は、これらの点検・確認作業の終了後に実施してまいります。

【参考】処理水ポータルサイト「測定・確認用設備の状況」ページ



- 測定・確認用設備、A・B・Cタンク群のALPS処理水の分析結果（トリチウム濃度・トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和）を掲載しています。

「ALPS処理水 海洋放出の状況」の画面イメージ



「測定・確認用設備の状況」の画面イメージ

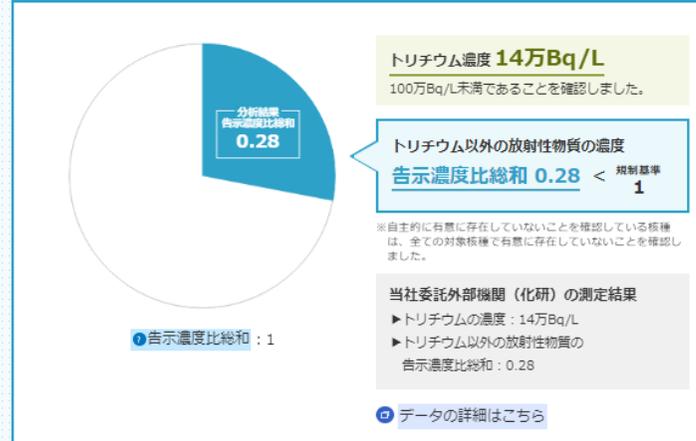
測定・確認用設備の状況

測定・確認用設備は、タンク10基（合計容量約10,000m³）×3群に分け、それぞれ「受入」、「測定・確認」、「放出」の3工程をローテーションしながら運用します。

（運用開始時は全てのタンクに水を受け入れ済。順次、測定・確認を行います。）



ALPS処理水の測定結果(2023年6月22日) ⇒ 放出基準を満足していることを確認しています



■ 処理水ポータルサイト 測定・確認用設備の状況

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility>

